

サトイモの選抜系「丸系八つ頭」を業務用に利用

「丸系八つ頭」は、園芸研究所が選抜したサトイモ（八つ頭）です。親芋の大きさは500~1,000g程度で、子芋・孫芋もたくさん穫れます。食味は、ホクホクしていて「八つ頭」と変わりません。

「丸系八つ頭」を業務用として利用するため、輸入サトイモに対抗できる多収安定生産技術を開発しました。植付け密度、土寄せの量を改善し、さらに灌水をすることによって、10a当たりの総収量は3.7~4.4tと、慣行の「八つ頭」より約30%増収できました。「丸系八つ頭」は、親芋の形状が丸いため皮がむきやすく捨てる部分が少ないのも、業務用として大きな長所です。

サトイモ「丸系八つ頭」を多収穫する栽培体系



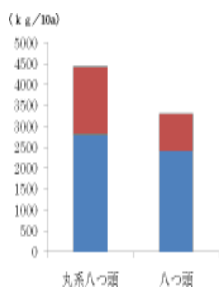
①透明マルチに種芋を定植（3月、畝幅120cm×株間30cm）→②追肥・土寄せ10cm（7月上旬）



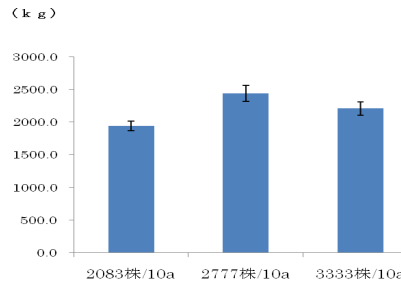
③灌水（7月下旬～9月上旬）



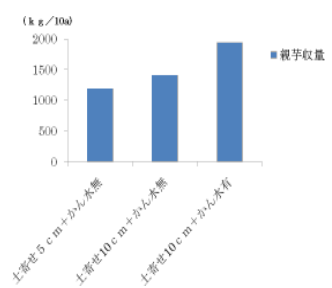
④収穫は11月中旬～12月下旬



園芸研究所で選抜した「丸系八つ頭」は収量が多い



植え方（栽植密度）で収量が変わる
最も多収なのは2777株/10a植え
（畝幅120cm×株間30cm）



土寄せ（10cm）と灌水で収量アップ